

博士前期課程(修士) / 健康看護学領域 / 看護管理学分野
科目コード:270007

災害実践看護学演習 Seminar in Disaster Nursing Practice and Science

担当教員	木田 亮平				
実務経験					
開講年次	1年次後期	単位数	4	授業形態	講義・演習
必修・選択	選択	時間数	90		
該当ディプロマ・ポリシー	(1)	◎	(2)	○	(3)
Keywords	災害看護学、災害看護研究				
学習目的・目標	《学修目的》 災害看護学を変革するエビデンスを構築するための科学的視点を修得する。 《学修目標》 1. 既存の災害看護学研究で用いられる研究方法論を理解する。 2. 災害看護実践に関する国内外の研究知見を理解する。 3. 災害看護学を行うための社会科学その他関連領域の諸理論を理解する。 4. 災害看護実践における課題を論理的に抽出し、概念化・一般化することができる。 5. 実現可能かつ妥当な研究計画を立案し、批判的に吟味することができる。				
授業計画・内容					
回	内容			授業方法	担当
1～2	ガイダンス、科学研究におけるパラダイム:自然科学パラダイムと社会科学パラダイム			講義	木田
3～9	災害看護学研究の動向と課題			講義・討論	木田
10～13	災害看護学研究における方法論①:質問紙調査(調査用紙の作成、データ分析)			講義・プレゼン・討論	木田
14～15	災害看護学研究における方法論②:面接調査(方法・データ分析)			講義・討論	木田
16～18	災害看護学研究における方法論③:データサイエンス			講義・討論	木田
19～20	災害看護学研究における方法論④:地理情報科学			講義・討論	木田
21～22	災害看護実践における課題の抽出と概念化			プレゼン・討論	木田
23～27	災害看護実践に関する文献レビュー・クリティーク			プレゼン・討論	木田
28～29	災害看護学研究と研究倫理			講義・討論	木田
30～38	リサーチクエスションの明確化			プレゼン・討議	木田
39～45	研究計画の検討			プレゼン・討論	木田
教科書	なし				
参考図書等	授業の中で適宜提示する				
評価指標	授業参加状況(40%)、研究計画とプレゼン内容・方法(60%)から評価				
関連科目	災害実践看護学特論				
教員から学生へのメッセージ	研究は科学的知見の積み重ねです。解決すべき課題・目指すべきビジョンと過去の研究知見の整理が大切です。活発なディスカッションをしましょう。				